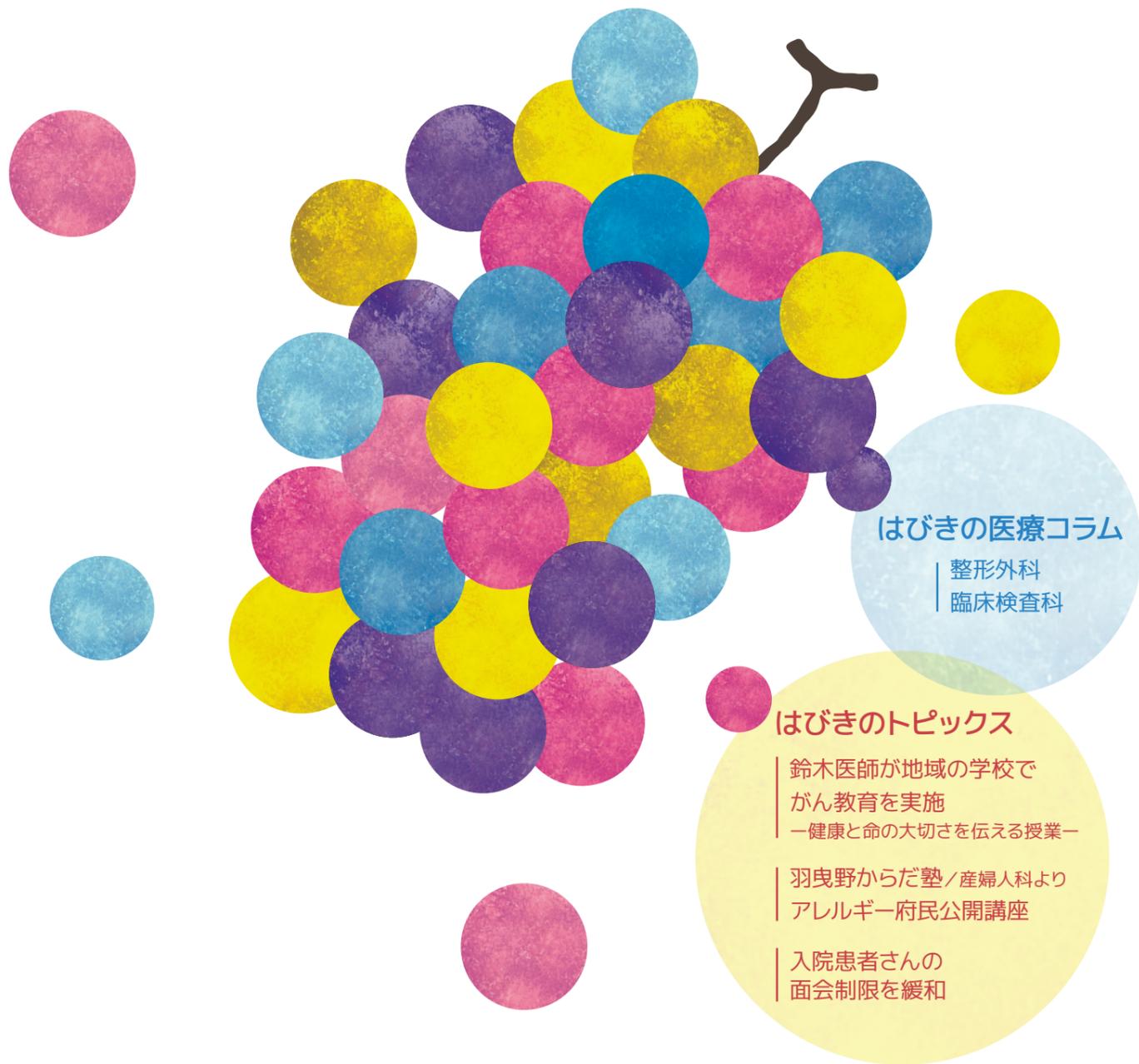


はびきのNEXT

第271号
2026年4月



はびきの医療コラム

整形外科
臨床検査科

はびきのトピックス

鈴木医師が地域の学校で
がん教育を実施
—健康と命の大切さを伝える授業—

羽曳野からだ塾/産婦人科より
アレルギー府民公開講座

入院患者さんの
面会制限を緩和

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1
☎072-957-2121 (代表)

センター公式SNS



はびきの医療コラム

整形外科

過去に骨折歴のある方の骨粗鬆症の治療は、特に重要です。

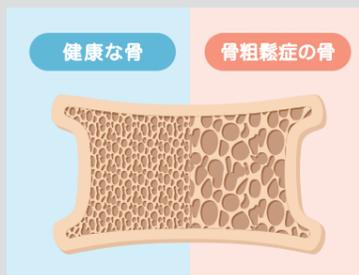
骨粗鬆症が関係する骨折

加齢や閉経で骨粗鬆症が進むと、尻餅やひねる等の軽い出来事でも骨折をきたす例は少なくありません。身体を支える背骨や大腿骨に骨折をきたすと、自立生活ができていた半数位の方に介護が必要となった報告もみられます。特に、骨粗鬆症が関係する骨折をおこした方は、早期に別の部位に再度骨折をきたすリスクが高く、骨粗鬆症の治療の重要性は高くなります。



骨粗鬆症の治療

食事や運動療法とともに、薬の治療が中心となります。近年、効果の高い、いろいろな働きを有する新薬も導入されています。骨は細胞の働きで吸収(古い骨を壊す)と形成(新しい骨を作る)の代謝を繰り返し骨の質を維持していますが、その代謝のバランスが崩れると骨粗鬆症が進行してしまいます。通常の骨粗鬆症にはビスホスホネートやビタミンDが多く使用されていますが、重症の骨粗鬆症や過去に骨折され再骨折の危険性の高い方には、抗RANKL抗体や骨の形成を強める薬により早期に骨の質を改善する治療法も用いられています。



健康な骨	骨粗鬆症の骨		
主な薬	● カルシウム ● ビタミンD・K	● ビスホスホネート ● 抗RANKL抗体 ● エストロゲン受容体作動薬	● 副甲状腺ホルモン剤 ● 抗スクレロシン抗体
働き	骨の代謝(骨を作る環境)を良くする	骨の吸収(古い骨を壊す)を抑える	骨の形成(新しい骨を作る)を強める



整形外科の詳細はこちら

整形外科主任部長 西井 孝



はびきのトピックス

参加費
無料

羽曳野からだ塾 産婦人科より

当センターでは、府民の皆さまの健康増進を目的に、年4回「羽曳野からだ塾」を開催しております。

開催した今回は、3月7日(土) 14:00~16:00に

「最近の産婦人科事情を知ろう」をテーマに、

① 昨今話題の無痛分娩について

産婦人科副部長/安川 久吉

② 出生前検査の現状

産婦人科副部長/安川 久吉

③ 骨盤臓器脱の最新の治療

産婦人科副部長/長安 実加

の3題について、当センターの医師がわかりやすく解説しました。当日も多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。



アレルギー府民公開講座

当講座は、アレルギー疾患拠点病院として、年に一回、府民の皆さまにアレルギー疾患への正しい理解を深めていただくため開催しています。

3月22日(日)に開催された今回は、「アレルギー疾患 最新の治療・最善の治療 —多職種で取り組む大阪はびきの医療センターからのメッセージ—」をテーマに実施しました。各専門分野の医師・看護師・薬剤師から多角的な視点で具体的な知見を共有し、アレルギー治療の最前線に触れることができる内容となりました。100名を超える府民の皆さまに参加いただき感謝申し上げます。



はびきの医療コラム

臨床検査科

採血のおはなし —気温による変化—

冬など寒い時期は、体温を保つために血管が収縮し、夏に比べて血管が細くなりやすくなります。そのため、採血の際に血管が見つかりにくく、採血が難しくなることがあります。

そのような場合は、腕を温めることで血管が広がり、採血が行いやすくなります。採血が難しい方は、待合い席であらかじめ腕を温めていただくなど、ご協力をお願いいたします。



臨床検査科
詳細はこちら



はびきのトピックス

入院患者さんの面会制限を緩和

感染状況の変化を踏まえ、面会ルールを見直しました。

2/1
より



- 手指消毒及びマスク着用をお願いします。
- 発熱や下痢・嘔気・嘔吐などの症状がある方はご遠慮ください。
- 院内での飲食はできません。
- 直近1週間以内に感染症や疑わしい人との接触があった方もご遠慮ください。

面会可能な方	家族又は家族に準じる方 (小学生以下の方は不可)	面会可能な人数	原則2名まで
面会の手順	1. 病院玄関横の守衛室で「面会のため来院した」旨をお声掛けください。 2. 守衛室でお渡しする「面会」シールを胸のあたりのわかりやすい位置に貼ってください。 3. 病棟入口のインターホンを押して、スタッフをお呼びください。 4. 「面会簿」に必要事項を記入してください。 5. スタッフの指示に従い面会してください。(30分以内をお願いします)	面会可能な時間帯・時間	14時から18時まで(土・日・祝を含む) 30分以内

上記ルールに加え、下記病棟では個別のルールを設定しています。

4Bひまわり病棟	両親と祖父母のみ面会可能です。	いちよう病棟	<ul style="list-style-type: none"> ● N95マスクが必要です。 ● お持ちでない方は、自動販売機を設置しております。 ● 15歳以下の方は不可。
4Cさくら病棟	面会場所はテイルーム内のみです。 ※荷物の運搬を含め、お部屋に行くことは出来ません。 ※ベビーとの面会は窓越しとなります。		

感染状況により、変更させていただく場合があります。ご協力をお願いします。

はびきのトピックス

講師：大阪はびきの医療センター
肺腫瘍内科主任部長/鈴木秀和

鈴木医師が地域の学校でがん教育を実施

—健康と命の大切さを伝える授業—

鈴木医師が3校で実施しました

11/18(火) 高鷲南中学校
2/5(木) 西浦支援学校高等部
2/20(金) 河原城中学校

早寝・早起きは、なんでもいっしょ?
健康水・早寝・早起きは、なんでもいっしょ?
からだをつくる
・身体の成長
・骨の回復

がん患者とともに生きる社会
がん患者にやさしく接してほしい
がん患者にやさしく接してほしい
がん患者にやさしく接してほしい

がんになつた人の話を聞いてみよう!

河原城中学校で使用した資料

西浦支援学校高等部での授業の様子

当センターの鈴木医師が、地域の学校で「がん教育」の授業を実施しました。生徒の皆さまに健康や命の大切さについて伝える機会となりました。

授業では、がんの基礎知識だけでなく、生活習慣や予防、早期発見の重要性、そして患者さんへの理解や共生の視点についてお話ししました。生徒の皆さまが真剣に耳を傾け、自分や家族の健康について考える様子が見られました。

鈴木医師は「がんは特別な人だけの病気ではなく、誰にとっても身近な健康課題です。今回の授業が、健康や命の大切さについて考えるきっかけになればうれしいです」と話していました。

今後も当センターは、医療機関としての専門性を活かし、地域の子どもの学びを支える取り組みを継続してまいります。

健康 命の大切さ

出典：がん情報サービス「がんと共に働く。まず一歩前へ!」より

<https://ganjoho.jp/pub/support/work/vol1/>